

4. モザンビーク、スワジランド、南アフリカ共和国—— 熱帯低気圧

熱帯低気圧 Domoina が、1月28日にモザンビーク南部の海岸を襲い、100 km/hr (約 28 m/s) の強風と高波と洪水をもたらした。報道によれば、南アフリカ共和国、スワジランド、モザンビークでの洪水による死者は少なくとも 139 人に達した。

影響の及んだ地域の降水量は 150~250 mm である。モザンビークでは、洪水と以前の干天の影響で食糧不足の恐れが強まっており、飢饉にみまわれた地域の救済活動も、この洪水によって妨げられた。

5. 日本——大雪

大雪が2回あって、道路と空の交通機関が立往生した。1月30日には、東京地方で 20 cm の降雪があり、

東京空港は12日間で2度目の空港閉鎖となった。大阪でも 18 cm の降雪があったが、これは最近 77 年間の最大値である。

6. オーストラリア——大雨・洪水

オーストラリア南東部では、150~300 mm に達する大雨のため洪水が発生した。

非公式の報告によれば、多雨のため 400 万トンの小麦(農作物の 1/5) が被害を受けた。

(注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している。なお、1984年から Climate Impact Assessment は月2回から月1回の発行に変わっている。)

(気候変動対策室 真野裕三)

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
日本気象学会昭和59年春季大会	昭和59年 5月23日~25日	日本気象学会	気象庁
第20回理工学における同位元素研究発表会	昭和59年 7月 2日~ 4日		国立教育会館
第10回国際生気象学会議	昭和59年 7月26日~30日		順天堂大学有山記念館・医学部
Twelfth International Laser Radar Conference	1984年 8月13日~17日	Int. Radiation Commission (IRC) Committee on Laser Atmospheric Sensing (CLAS)	Aix-en-Provence, France
第2回エアロゾル科学・技術研究討論会	昭和59年 8月23日~25日	エアロゾル研究協議会	京都堀川会館
第8回風工学シンポジウム	昭和59年12月 6日~ 7日	日本風工学会ほか	気象庁講堂